

いじめ根絶アクションプログラム（4大学連携BPプロジェクト）

『生徒主体の個と個をつなぐ学級での取り組み』

福岡教育大学附属福岡中学校

【方法】

- 朝の会（8:30～8:40）の中で、男女ペアになり一分間会話をする。
- 会話をする相手は一日一人。
- ペアの相手は、フォークダンス形式で変わる。
- テーマは日替わり。（テーマは担当の生徒が考える。）



【生徒の印象に残っているテーマ】

- 学校生活に関すること（部活動または習い事について/担任の先生の良いところ）
- 相互理解につながる事（ペアの相手との共通点を5つ見つける/魚と肉どちらが好きか/猫派か犬派か）
- 自己に関する事（最近楽しかったこと/自粛明けにどこに行きたいか/休日にしていること/好きな曲/過去の恥ずかしい体験/朝食のメニュー）
- フリートーク

【取り組みを始めたきっかけ】

2020年2月末より5月20日まで新型コロナウイルスにより臨時休校となり、5月21日より学校が再開しました。

当初は、学級を分割したり、休憩時間の会話の制限や、授業中のグループ活動の制限があったりしたため、学級目標決めや、学級の親睦を深めるための活動ができませんでした。

そのため、男女を問わず、級友のことをお互いに知って、学級の輪を広げ、人とのつながりを深めていきたいと考えました。

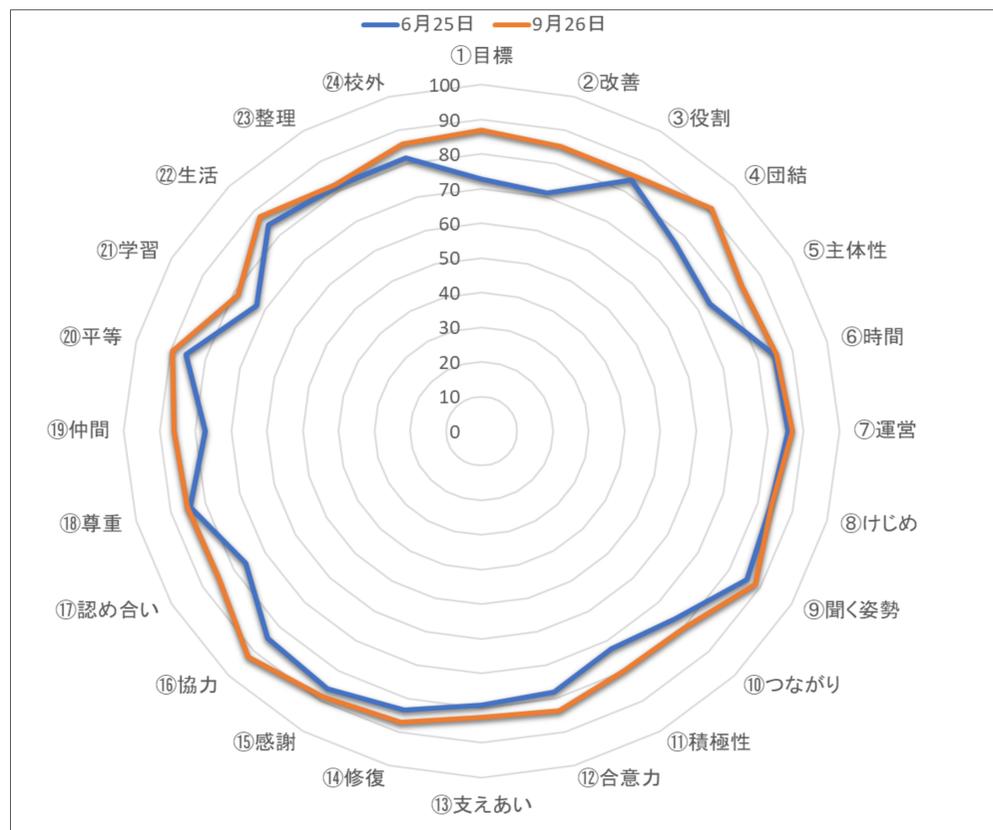


【取り組みの成果】

関連情報 <https://bp.fukuoka-edu.ac.jp/frontcontents.php?id=36&1629077909>

学級の状況を見取るアンケート

項目	内容	100点
① 目標	みんなで決めた目標に力を合わせて取り組んでいる学級	
② 改善	自分たちの学習や生活をよりよくするための話し合いや活動をしている学級	
③ 役割	係や委員の活動に責任をもって取り組む学級	
④ 団結	生徒会で決めた活動や学校行事に団結して取り組む学級	
⑤ 主体性	学年や学校のためになる活動を提案して進んで取り組む学級	
⑥ 時間	集合の時間、授業開始の時間、活動終了の時間などを守る学級	
⑦ 運営	学級会では、司会や記録を自分たちで担当して話し合いを進める学級	
⑧ けじめ	楽しむときとまじめに集中するときのけじめをつけることができる学級	
⑨ 聞く姿勢	発言している人の話を最後までしっかりと聞いている学級	
⑩ つながり	友達の話に賛成・反対・つけたしとつなげるように発言している学級	
⑪ 積極性	話し合いのとき、考えや意見を進んで出し合う学級	
⑫ 合意力	異なる意見や提案をよく聞いて、話し合いをまとめることができる学級	
⑬ 支えあい	家庭学習やテスト勉強などで、教え合いをしている学級	
⑭ 修復	素直に「ごめんね」といって仲直りできる学級	
⑮ 感謝	「ありがとう」を伝え合っている学級	
⑯ 協力	授業中、グループ学習や班活動でよく協力している学級	
⑰ 認め合い	友達のよいところやがんばりを認めて伝え合っている学級	
⑱ 尊重	友達の心を傷つけることを言ったり、からかったりしない学級	
⑲ 仲間	男女の仲がよく、共に学んだり活動したりしている学級	
⑳ 平等	友達の間に関係がなく、誰でも平等に接している学級	
㉑ 学習	授業中、むだなおしゃべりをしない学級	
㉒ 生活	あいさつ、服装、持ち物などについて、学校のきまりを守っている学級	
㉓ 整理	ろうかや教室を整理整頓している学級	
㉔ 校外	校外でも人の迷惑にならないように考えて行動できる学級	



【一分間交流の取り組みを通じた生徒の感想】

- 一分間交流をしているうちに、「この人はこれが好きだったよな。」と相手のことを知ったり、いつも同じ人として話さなかったけれど、自然と男子との交流が増えて、授業中の話し合い活動も積極的に交流できるようになった。
- 一分間交流では、普段話さない人となにげない会話をすることで、お互いの意外な共通点が見つかり、一分間交流以外の時間でも同じ趣味をもった人とよく話すようになった。